



Fukagawa Rotary Club

RI 第 2 5 1 0 地区第 1 グループ

深川ロータリークラブ



RI2510 地区



例会プログラム

1 日会長幹事

2 月 1 4 日 (火)

担当：会長・幹事

No2973 第 19 回例会



地区 職業奉仕委員長 長田 正文様

会長挨拶

飛弾野副会長

本日も引き続き佐藤会長が体調不良のため私が代行させていただきます。

本日のゲストは国際ロータリー 2510 地区職業奉仕委員長長田正文様です。岩見沢東ロータリークラブ所属で雪の中足をお運びいただきました。後ほど成田雅敏職業奉仕委員長よりプロフィールのご紹介がございます。

例会案内

例会案内「2月～3月」

- 2月14日(火) 一日会長・幹事
- 2月21日(火) 法定休会
- 2月28日(火) ふれあい農園報告(夜間)
- 3月7日(火) ロータリー情報Ⅱ
- 3月14日(火) 会員増強委員会担当例会

出席報告

1月31日例会

- 総会員数 33名 (出席免除者1名中1名出席)
- 欠席者数 9名 石川, 津田, 児島, 木村, 武田, 宮岸, 宮澤, 村中, 森各会員
- 出席率 71.88%
- 前回メーキング 0名
- 前回修正出席率 93.94%

前例会幹事報告

佐々木 幹事

- 留萌 RC・羽幌 RC・赤平 RC より例会案内、会報送付
- 滝川 RC より例会案内の送付
- 芦別 RC より会報の送付
- RI よりザ・ロータリアン誌英語版の送付

スマイルBOX

累計額 ¥242,000

- 大西道祥 PAG 喜寿の祝い
- 成田昭彦 P 会長 喜寿の祝い
- 宮岸徹二会員 喜寿の祝い
- 長谷川 P 会長 古希の祝い
- 伊東由紀夫会員 抽選会大吉
- 長谷川 P 会長 父の葬儀に際し
- 佐々木 P 会長 誕生日
- 飛弾野副会長 妻の誕生日

2月の会員祝福

- 会員誕生 ■■■■■■■■
- 佐々木弘有会員 昭和 35 年 2 月 22 日
- 佐藤幸治会長 昭和 27 年 2 月 20 日
- 夫人誕生 ■■■■■■■■
- 飛弾野真理様 7 月 16 日
- 創立記念 ■■■■■■■■
- 伊東由紀夫会員 昭和 60 年 2 月 1 日



2510 地区新会員セミナー開催案内

来たる 4 月 22 日から 1 泊 2 日で、地区主催の新入会員セミナーを開催します。2019 年 7 月 1 日以降にロータリーに初めて加入された会員が対象者です。

参加ご希望の方は、申込書をダウンロードしクラブ毎にまとめてクラブの幹事さんより実行委員会のメール (rid2510.ishimaru@gmail.com) に添付して送信して下さい。
参加費用: お一人 15,000 円 定員: 40 名 (先着順)
申込メ切: 3 月 17 日 (金)

地区 職業奉仕委員長 長田正文様 卓話

第2510地区 職業奉仕委員長 長田 正文様

皆さんはロータリーの標語「モットー」をご存じですか？ 1つは「超我の奉仕」 Service Above Self です。この標語は ベンジャミン・フランクリン・コリンズが提唱しました。では2つ目の標語は「最もよく奉仕する者、最も多くむくみられる」 One Profits Most Who Serves Best です。これはアーサー・フレデリック・シエルドンが提唱しました。

この2つがロータリーの標語（モットー）となっています。1番目の標語「超我の奉仕」 Service Above Self は、1911年ポートランドで開催された全米ロータリー連合会のエキスカンションとして、コロンビア川をさかのぼる船旅の中で即興演説の中で語った言葉です。この言葉はコリンズが考えたことではなく、コリンズの所属しているクラブ ミネアポリスロータリークラブで普段から話されていた言葉だそうです。ですからコリンズが提唱したというよりコリンズの所属クラブが提唱したといった方が良いでしょう。コリンズが提唱した当初は Service Not Self 「無私の奉仕」でした。ところが1917年頃、人は皆自己を尊ばねばならないし、自己を守らなければならぬとし、自己を否定する not より自己を第2に置く Above の方がよいという事で修正されたことになりました。

ただ、コリンズが演説の中で話した本当の意味は、今までロータリーが独占していた会員同士の相互取引を会員外にも拡大しようという意味で Service Not Self が使われたようです。彼が言った標語は黄金律を言い換えたものであり、自分だけが儲けるのではなく、他人にも恩恵を与えるように取引を拡大すべきだということ。宗教的意味を持つている言葉ではありません。 Service Above Self が使われるようになってからその持たせ意味合いは違ったものに変化していきまして。

決議23134によって The idealof service is Service Above Self とある。すなわち、ロータリーの奉仕理念は「超我の奉仕である」と規定されさらに「奉仕の理想とは他人のことを思いやり、他人のために役立つこととする」と定義されています。いわゆる、社会奉仕や世界社会奉仕の活動を推奨するモットーだと考える事が出来ます。

2つ目の標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」 One Profits Most Who Serves Best ですが、

最初にロータリーで発表されたのは、全米ロータリークラブ連合会の年次大会が1910年8月15日から17日まで行われましたが、最終日の晩餐会の席上、シエルドンがスピーチをして、The Profits Most Who Serves His fellows Best という言葉を初めて披露しました。しかしながら、このスピーチを理解できた人はほとんどいなく、反響はゼロに近いものでした。ここで His fellows という言葉が現在使われている言葉より余分に付いており「自分の事業に関係する人たちで、最も奉仕した人が最も多く報いられる」という意味です。当時の人達が「奉仕・・・サービス」という言葉から思い浮かべる事は「神に対する奉仕・・・教会・・・国に対する奉仕・・・兵役」、「主人に対する奉仕・・・召使」といった程度であって、経営とサービスを結びつけることに思いを馳せる人は誰もいなかったからです。1911年8月にオレゴン州ポートランドで第2回全米ロータリークラブ連合会の年次大会が開催されました。シエルドンはイギリスの方に行っていてチェスレー・ペリー事務総長がシエルドンの演説原稿を代読しました。その時の演説の内容が参加者に極めて強い印象を与えたため、The Profits Most Who Serves Best という言葉がこの大会で採択された。ロータリー宣言の結語として採択されました。この時は「His fellows」という言葉は省略されました。

1921年スコットランドのエンバラで開催された国際大会で「The Profits Most Who Serves Best」というロータリーの奉仕哲学は、自然の法則であり、宇宙の摂理にかなった法則です。絶対的なもので、絶対不変なもの、これがロータリーの職業奉仕理念であるという事を述べると共に、一般的な哲学とロータリーの奉仕哲学は、継続的に利益を得る人のための人間関係の基本的原則であると結論付けています。

奉仕哲学は、原因によって結果が証明できる科学であるという前提から、「奉仕」と「自我」と「利益」の関係を明快に説明しています。すなわち、奉仕の原理は継続的に利益を得るための人間関係の基本的な法則なのです。一見さんだけを相手にしていたのでは、事業の発展はありません。顧客がリピーターとなつて何回も訪れ、また別の顧客を紹介してくれるから、その店は発展して、また別の顧客を呼び寄せるために仕事をしているのではなく、職業を通じて社会に奉仕したから報酬を受けているのです。つまり、社会に大きな奉仕をすれば、必ず大きな報酬を得られるのだし、少

しか奉仕をしなければ、少しの報酬しか得られないのです。 The Profits Most Who Serves Best の持つている意味は自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む、すなわち会社経営を経営学の実践だととらえて、原理原則に基づいた企業経営をすべきだということです。 1921年の国際大会で、結局この2つのモットーがこの大会で使用されることとなりました。そして1950年デトロイト大会の決議50-11によって正式にロータリー・モットーとして採択した、他の奉仕クラブにはない概念です。

ただ「The Profits Most Who Serves Best」もロータリーのためにシエルドンが考え出したモットーではないのです。 シエルドンは1902年「シエルドン・ビジネス・スクール」を設立しました、そのスクールで「The Profits Most Who Serves Best」に基づくサービス学の概念を、科学と捉え、それを体系的に教えることが、シエルドン・ビジネス・スクールの教科書の中で経営学のモットーとして作られたものです。 このモットーは純然たる経営学理念であり、黄金律を説いたものです。

ですから1902年には「The Profits Most Who Serves Best」の言葉はこの世に出たのです。ポール・ハリスがロータリーを作ったのは1905年ですが、その前からこのモットーは別の意味で使われていたのです。ただ、今説明したようにビジネス・スクールのために作られたモットーでも、その理念はロータリーの理念と全く一致したものであるから、ここまでロータリーのモットーとして伝えられて来たのではないのでしょうか。それから、ロータリーに女性が入会し始めてから The に修正され、現在では One に修正されています。

如何でしょうか、今までロータリーのモットーにこの様な意味があったのをご存じでしょうか、ロータリーの歴史100年以上たちますが、このように紐解いていくことも面白いものだと思います。これから職業奉仕について興味を持っていただき、自分のお仕事に役にたてて頂きたいと期待します。

会長 佐藤 幸治
副会長 飛騨野貴広
幹事 佐々木 弘有
副幹事 寺島 康宏

会長エレクト 圓浄 貴之
副幹事 寺島 康宏

副会長 飛騨野貴広
会計 廣上 晃士



例会運営委員会

委員長 大西 祥太
副委員長 伊東由紀夫

深川 R C

■例会場 ラ・カンパーニョホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
プラザ深川3 F TEL (0164)34-6228
■URL H <http://mypage.fukanavi.com/rotary/>

■例会日 毎週火曜日
■姉妹クラブ 南海RC (韓国)
■第2510地区第1グループ
■Mail fukagawa-RC@club502.jp